

ハチ 対 策

冬が終わり、春が来たと思えば、すぐに夏がやってきます。安全対策として重要なのが熱中症ですが、その前に気を付けなければいけないことがあります。

それは、ハチです。ハチに刺されによる死亡は、毎年 20 件前後発生しているそうです。最も攻撃的になる時期は 7 月からですが、6 月から活動が始まります。

予防と対策をご紹介します！

- ① ハチの巣が無いか周囲を確認
- ② 黒い服を着ない (白い作業着、保護帽、防蜂網の着用)
- ③ 整髪料・香水の使用を控える (刺激臭は攻撃的になるので)
- ④ ポイズンリムーバーの所持 (毒吸引器)
- ⑤ エピペン (自己注射剤) の所持 (抵抗力のない人は、医師の診断のもと使用)

刺されてしまったら・・・

- ① 場所を離れ、毒針を抜く
- ② ポイズンリムーバー (吸引器) 等で毒を吸い出す
- ③ 赤く腫れ始めたら、抗ヒスタミン軟膏を塗る
- ④ 酷い場合は医者に行く

※患部を揉むと毒が広がるので、絶対に揉まない！

小さいからとハチを甘く見ると、大変なことになるので、要注意しましょう！

下刈り・つる切の重要性

畑で作物の生育を妨げる雑草を取り除くように、林業でも植えられた苗木の成長を妨げる植物を除去します。これを「下刈り (下草刈り)」といいます。

スギやヒノキの苗木と他の草木は、光と水の激しい奪い合いをします。そのため、人が積極的に介入して下刈りを行わないと、せっかく植えた苗木も雑草の影となったり、地中の水を奪われたりして、枯れてしまいます。

苗木が雑草よりも大きく成長し、下刈りの必要がなくなっても、クズ・フジ・ツタなどのツルが幹に巻きついたり、木の全体に覆いかぶさったりするため、切らなければなりません。この作業を、「つる切」といいます。つる切の注意点は、跳ね返ったり、古くなったつるが落ちてきたりと、危険な作業なので、取り除いてから、除伐 (間伐) を行います。草木の生い茂った夏場に行う為、とても大変な作業なんです。

人はそれぞれに価値観があり、十人十色です。「良い会社」という言葉の解釈も人それぞれで、考えてみると、楽な方に意見がまとまってしまい、イメージしにくくなると思います。ところが「強い会社」となると、“負けない会社” “潰れない会社” とイメージは一致しやすくなると思います。生きていく限り、会社は生き続けなければいけないのです。

だからこそ、「強い会社」にするために、一人一人の力が必要になってくるのです。

“進むべき方向”に向かって”自ら考え行動する“人に育てるために、会社は”明確な方向性“を指し示していかないとはいけません。

“得るべき成果”を得るために、“出すべき結果”は何か？

“出すべき結果”を出すために、“取るべき行動”は何か？

育つ仕組みを創る事が、人と会社を強くするのではないのでしょうか。

依田林業新聞

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

今月の一言

成功によって手に入れたものよりも、成功によってどのような人間になれたかの方が、よっぽど大切である。

強 良
会 会
社 社